

# 生物多様性保全や体験学習の役割を担うバイオ田んぼプロジェクトの取組

—生物多様性保全—

## (株)エーゼログループ



バイオ田んぼの様子



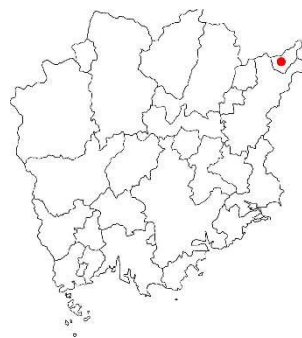
水田に生息するタガメ

同社は、2015年に西粟倉村雇用対策協議会から、移住・企業支援事業、木材・加工流通事業を引き継ぐ会社としてスタート。

「未来の里山をつくる」という理念を掲げ、2023年からは中山間地の米づくりに付加価値を生む「バイオ田んぼプロジェクト」を手掛けている。

このプロジェクトでは、田んぼの約10%をピオトープ化し、水稻栽培に使用する農薬・除草剤の使用を極力抑え、中干し期にもピオトープに水生生物が逃げられる水場を確保するなど、自然共生型農業を実践。その結果、タガメやメダカなどが増え、生態系が回復した。

さらにだれでも参加可能な会員制の「バイオ田んぼクラブ」を設立し、田植えや稲刈り、生きもの探しなどの体験イベントや企業研修を通じ、地域と都市をつなぐ交流の場を提供。農地を人と生きものが集う場として活用し、持続可能な農村づくりのモデルとして注目されている。



岡山県西粟倉村

### 【生物多様性保全】

上記の取組以外にも、2025年7月から西粟倉村や香川高等専門学校との共同プロジェクトにおいてポータブル魚道の設置・モニタリングを実施。堰によって分断された河川や水路の連続性を回復させることでオオサンショウウオや魚類の遡上が確認されている。ほかにもオオサンショウウオの産卵環境の整備等も行っている。

### 【体験学習と教育】

バイオ田んぼクラブでは、県内外から集まった農業や生きものに興味のある子どもたちが、田植え、生きもの探し、稲刈り、収穫祭等を体験する年8回程度のイベントに参加。生きもの調査や農業の体験を通して生きものの尊さや自然・農業・農村の大切さを学んでいる。

### 【地域社会への貢献】

西粟倉村の地域資源活用と関係人口増加を目的とし、加工販売所やレストランを併設した複合施設「BASE101%」を開設し、村内産の食材を中心とした料理の提供の他、地元農産物やジビエ・木材加工品の販売を行っている。



BASE101%で販売されている  
バイオ田んぼ米と日本酒



生きもの探しの様子



設置されたポータブル魚道



オオサンショウウオ

HPの紹介  
(株)エーゼログループ  
<https://a-zero.group/>